

厚生福祉

 時事通信社

104-8178 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信社
 昭和28年5月30日 第3種郵便物認可
 毎週2回火・金曜日発行(但し祝日を除く)
 購読料金 月額税込み4,300円
 本誌掲載記事・写真などの無断複写、複製、転載を禁じます。
 ©時事通信社2013
 ◎誌面内容に関するお問い合わせ(編集部)
 kousei-dokusha@jiji.com

目次

シリーズ 解説・制度改正 精神保健福祉法改正法案について.....	2
事件・事故・裁判.....	5
夫婦別姓「憲法の保障ない」ほか	
毎日温泉で病気予防? 脳卒中や心筋梗塞 少なく一別府で初の大規模調査.....	6
学会・医療情報.....	7
命に関わる事故、病院6%が経験 ほか	
中央省庁ニュース.....	8
再生医療新法案を閣議決定/スプリング ラー、9割設置せず ほか	
進言(青森県).....	9
被後見人に選挙権 改正公選法が成立.....	10
地域を支える(山口県).....	11
鳥インフルエンザ関連情報.....	12
ワンコイン健診の現場から vol.15 韓国・ヘルスケア最前線.....	13
学校、病院事前移転を 南海トラフ地震対策で最終報告・内閣府.....	14
妊産婦死亡、改善に遅れ.....	15
成長戦略、3本柱で推進 産業再興・市場創造・国際展開.....	16
短信.....	17
ニュースフラッシュ.....	18

「尊厳」と「自立」

福祉という分野に長年取り組んできて、間もなく後期高齢者になろうとする年齢になって、ますます福祉とは介護保険の理念である「尊厳」と「自立」だと分かるようになってきた。

自分の行動、発言など、あらゆる所で「尊厳」と「自立」に合っているかをチェックすると、そのことがよく分かる。

私たちの法人本部がある岐阜県池田町では、昨年度から更なる福祉の街づくりに取り掛かった。

まず、町内の小中学校で既に行っている福祉に関する取り組みを整理・検討し、町内にある高等学校ともどのように連携するかを考え、当法人が開設する専門学校や現場との連携を模索する。

社会福祉法人新生会
 名誉理事長・石原美智子



「尊厳」と「自立」を基盤として考える福祉は、当然上から目線で与えるものではなく、何でもやってあげる親切の押し売りでもない。ところが、当専門学校に入学してくる学生はほぼ、福祉とはやってあげることと思込んでいるか、或いは、何も自信がないから福祉に来たという、ちょっと理解に苦しむ者もいる。しかし、障がい乗り越えてきた講師や、現場で働く職員の姿などから、入学後に意識が変化する。何だか分からないけれど、今までは少し違うぞ、ということが分かってくるようだ。それは、入学して1か月後に書く振り返りのレポートで全員が書いている。

福祉大国と言われる北欧と同じようなシステム

を導入しようとしたり、議論をしたりしても同じにならないのは、土壌が違うからである。先ず、時間がかかっても土壌づくりをする必要がある。土壌づくりの大切さは農家の人なら誰でも理解できるはずである。

私たちは、池田町の福祉一貫教育で、先ず土づくりをしようというのである。これは、県や町の教育関係者の積極的な熱い思いがあつて初めて実現する。彼らはきつと、いじめの問題も福祉と同じ土壌の問題だと気付いていたに違いない。

子供のところから「尊厳」と「自立」という概念に何となく気付き、そこはかかないその存在感に包まれて成長すると、福祉や教育のみならず環境、医療、ビジネスなど社会のあらゆる分野が、実は同じ土壌に育つ同根だったことに気付くことになるだろう。